

令和7年（2025年）度行政評価シート

令和 7 年 6 月 20 日

評価者	教育文化財部長 小林 昭嗣
-----	---------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実
目標とするまちの姿	だれもが手軽に地域の学習資料を利用できる環境が整備されています。教育機関・企業などとの連携により、多様な学習プログラムが提供され、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、世代を超えて市民同士がふれあうことができる生涯学習が推進されています。			
主な取組	(1) 豊かな資源を生かした生涯学習の推進 市民のだれもが、いつでも手軽に学習できる環境を整えるため、生涯学習施設の管理・運営を充実させます。また、教育機関等・企業との連携により資料の収集及び保存方法を充実させ、市民の学習資料として提供することにより、質の高い生涯学習を推進していきます。 (2) 多様な生涯学習機会の提供と周知 人生100 年時代を迎える中で、多世代の多様な生涯学習のニーズに対応するため、市が主催する学習講座に加え、教育機関・企業や市民団体・地域団体における講座・イベント等を幅広く紹介し、市民の生涯学習参加の機会の充実を図るとともに、世代を超えて市民同士がふれあい、交流できる学習交流の機会を提供します。			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

- ・指定管理者と密な連絡・調整を行い、学習センターの適切な管理運営を図るとともに、利用区分の変更を行う。
- ・今後予定される図書館の施設整備に伴い、これからの図書館のあり方について、教育委員会内で考え方の整理を行っていく。
- ・令和5年度にデジタル化した鎌倉の明治期以降の所蔵記録写真アルバムのデジタル資料の公開準備を行い、順次公開に努める。
- ・市史編纂事業について、編纂対象時期や形態について検討し、決定を行う市史編纂委員会の発足に向けた事務を取り扱う体制整備の検討とそれに伴う予算の積算を行い、令和7年度以降の実施につなげる。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	284,993	272,419	406,736	363,629	388,049	
人件費	305,692	320,673	320,297	237,207	246,038	
総事業費	590,685	593,092	727,033	600,836	634,087	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	教育-11	社会教育運営事業		1,977	2,393	4,370	現状維持	A	現状維持
	教育-32	社会教育運営事業		70	787	857	現状維持	A	現状維持
	教育-53	社会教育運営事業		889	6,162	7,051	現状維持	A	現状維持
	教育-54	吉屋信子記念館管理運営事業		2,552	2,065	4,617	現状維持	A	現状維持
	教育-55	生涯学習センター管理運営事業		284,683	18,291	302,974	改善・変更	A	改善・変更
	教育-56	市史編纂事業		71	12,718	12,789	拡充	A	拡充
	教育-57	図書館管理運営事業		97,807	203,622	301,429	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

・指定管理者と密な連絡・調整を行い、学習センターの適切な管理運営を図るとともに、利用者アンケート及び利用者懇談会を実施し、利用者等の意見を踏まえ、市議会9月定例会にて、利用区分の変更のための条例改正を行った。

・中央図書館及び地域図書館の運営のあり方については、今後、鎌倉市図書館協議会への諮問を行うこととし、令和7年度中にとりまとめることを目標とした。

・デジタル資料については、約4,500件のデジタル化を行っており、そのおよそ90%について公開の準備を行った。

・市史編纂事業については、令和7年度から市史編纂委員会の発足に向けた事務を取り扱う体制整備の準備について協議を行った。

※実施できなかった事業とその理由

5. 成果指標

成果指標①		生涯学習に取り組んでいる市民の割合					出典	市民アンケート調査		
	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	44	目標値	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	%	
		実績値	未実施	47.7	48.4	50.3	52.7%			
		達成率	—	103.7%	103.0%	104.8%	107.6%		%	

成果指標②		市・生涯学習センター主催の生涯学習事業(講座・イベント)参加者の満足度					出典	令和6年度講座・イベントアンケート集計		
	平成31年4月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	90.2	目標値	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	%	
		実績値	未実施	79.0	85.0	84.2	85.3			
		達成率	—	87.5%	94.2%	93.3%	94.6%		%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

・生涯学習に取り組んでいる市民の割合は、年間を通じて開館し多くの講座・イベントを開催する等、生涯学習を行う場の保障と生涯学習に触れる機会の創出につとめたことにより、目標値を達成することができた。

・生涯学習に取り組んでいる市民の割合、市・生涯学習センター主催の生涯学習事業(講座・イベント)参加者の満足度については、鎌倉市生涯学習推進委員会と協働で講座、イベントを開催したが、目標値には届かなかったため、更なる創意工夫が必要と考える。なお、アンケート結果では「満足」と「普通」を合わせると95.1%に達しており、「不満」は1.1%、「無回答」は3.7%にとどまっている。

・中央図書館を安全で快適に過ごせるよう、館内照明(敷地内の外灯を含む)の修繕(LED化によるカーボンマネージメントを含む)を行ったほか、館内Wi-Fiの設置、図書館情報システムの更新を行うとともに、拡大読書器の購入など読書バリアフリー化を推進し、利用者の利用環境の向上を図った。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

・生涯学習センターについては、指定管理者制度を導入しているが、引き続き、生涯学習センター主催事業として、鎌倉市生涯学習推進委員会と協働で講座、イベントを開催することができた。アンケート結果から、講座等テーマを参加動機とする回答が75.8%と前年度と同数の結果となり、イベント自体に関心をよせられたこともあり、高い満足度に繋がったと考える。また、指定管理者が中心となって行った新たな生涯学習センター主催事業においては、若年層向けの企画もあり、利用者の促進や、今後の生涯学習に取り組む市民の割合の増も期待される。

・図書館管理運営事業は、館内照明の修繕を行ったほか、館内Wi-Fiの設置、図書館情報システムの更新、拡大読書器の購入など読書バリアフリー化の推進を実施し、利用者の利用環境の向上に寄与した。

8. 今後の方向性

・現利用者の満足度を高めつつ、生涯学習センターでの現役・若年世代の利用の促進、夜間の稼働率の向上、ICTを活用した講座等の開設など、社会教育事業の質的向上と量的拡大を目指していく。

9. 今年度(評価年度)の目標

・指定管理者と密な連絡・調整を行いながら学習センターの適切な管理運営を行う。

・今後予定される図書館の施設整備に伴い、これからの図書館のあり方について検討を進めるとともに、図書館として必要な設備についても協議を行う。

・デジタル化した鎌倉の明治以降の所蔵記録写真アルバムの公開準備がおおむね整ったので、公開に向けた作業を行う。

・市史編纂事業について、編纂対象時期や形態について検討し、決定を行う市史編纂委員会の発足に向けた事務を取り扱う体制整備の準備を行う。